

設定・操作マニュアル

第 2.0 版



更新履歴

2020.08.31 第 1 版リリース
2020.09.12 第 1.1 版リリース
2021.02.12 第 2.0 版リリース

目次

1.	はじめに	4
1.1	本書について	4
1.2	「Fever Checker」とは	4
1.3	Web 管理ツール(基本ソフト)との併用について	5
1.4	動作環境	5
2.	ご利用前の WindowsPC 設定確認	6
2.1	画面サイズ・拡大率の変更	6
2.2	スリープモードの解除	7
3.	インストールの方法	8
3.1	はじめて PC にインストールする場合	8
3.2	ライセンスキーを入力する	10
3.3	バージョンアップを行う場合 ※新 ver がリリースされた場合のみ実施ください	11
4.	Fever Checker と FaceFC を接続する	13
4.1	FaceFC にログインする	13
4.2	ログインできないときのポイントメモ	14
5.	ダッシュボードの機能説明	15
5.1	ダッシュボード画面への移動	15
5.2	ライブビュー画面	15
5.3	リアルタイム認証結果の確認	16
5.3	過去の認証結果の確認	16
6.	ログ一覧の機能説明	18
6.1	ログ一覧画面への移動	18
6.2	ログ一覧表示およびログ絞り込み機能	18
6.3	ログの csv 出力と認証時画像の出力	20
6.4	未登録者の認証時画像からのユーザ登録	21
6.5	ログ全件削除機能	22
7.	ユーザ登録管理の機能説明	23
7.1	ユーザ登録管理画面への移動	23
7.2	ユーザ登録情報の昇順/降順並べ替え	23
7.3	ユーザ登録情報の編集・削除	24
7.4	ユーザ登録情報の新規追加	25
7.5	ユーザ登録情報の一括出力/登録	26
8.	端末設定機能の説明	27
8.1	端末設定画面への移動	27
8.2	ダッシュボードの設定	28
8.3	音声ガイドの設定	29
8.4	アラートメールの設定	30

8.5 ログイン時のパスワード設定	31
8.6 ラベルプリンタ 連携機能	32
8.7 警告灯 連携機能	37
9. こんなときは.....	41
9.1 フリーズする。動作が重くなる。	41
9.2 FaceFC との接続ができない.....	41
9.3 特定の異常時だけ音声を出したい.....	41
9.4 音声が出ない	41
9.5 登録したブラックリストユーザを確認できない	42
9.6 過去の認証画像・SCORE が表示されない	42

1. はじめに

1.1 本書について

本書は FaceFC 専用(製番:STD-5MA071-E)の Windows 用 監視・通知アプリケーション「Fever Checker」の操作・設定マニュアルです。記載される機能・内容については、「Fever Checker ver1.1.1」を基に記載しております。

1.2 「Fever Checker」とは

Fever Checker とは、FaceFC(製番 : STD-5MA071-E)の認証状況をリアルタイムで確認できる Windows 用の有償アプリケーションです。FaceFC がネットワークに接続されていれば(同一ネットワーク/セグメント内に限る)、離れた場所(警備室・オフィスなど)から FaceFC の認証状況・異常有無をリアルタイムで確認することができます。

加えて、Web 管理ツール(基本ソフト)で設定・確認できる一部機能 (ログ検索/ユーザ登録)のユーザビリティを改良しており、認証時ログ(ログデータ/認証時画像)の全件削除ができる新規機能を追加しております。

Fever Checker

リアルタイムで認証状況を確認



・画像による認証結果表示

認証者のユーザ情報(名前、ID、性別)、測定温度、マスク有無をリアルタイムで表示

・音声ガイドによる発話通知もサポート

「●●さんは熱があります」
「▼▼さんはマスクをしていません」 等
PCから離れていても異常を察知



基本ソフト設定機能のユーザビリティを改善

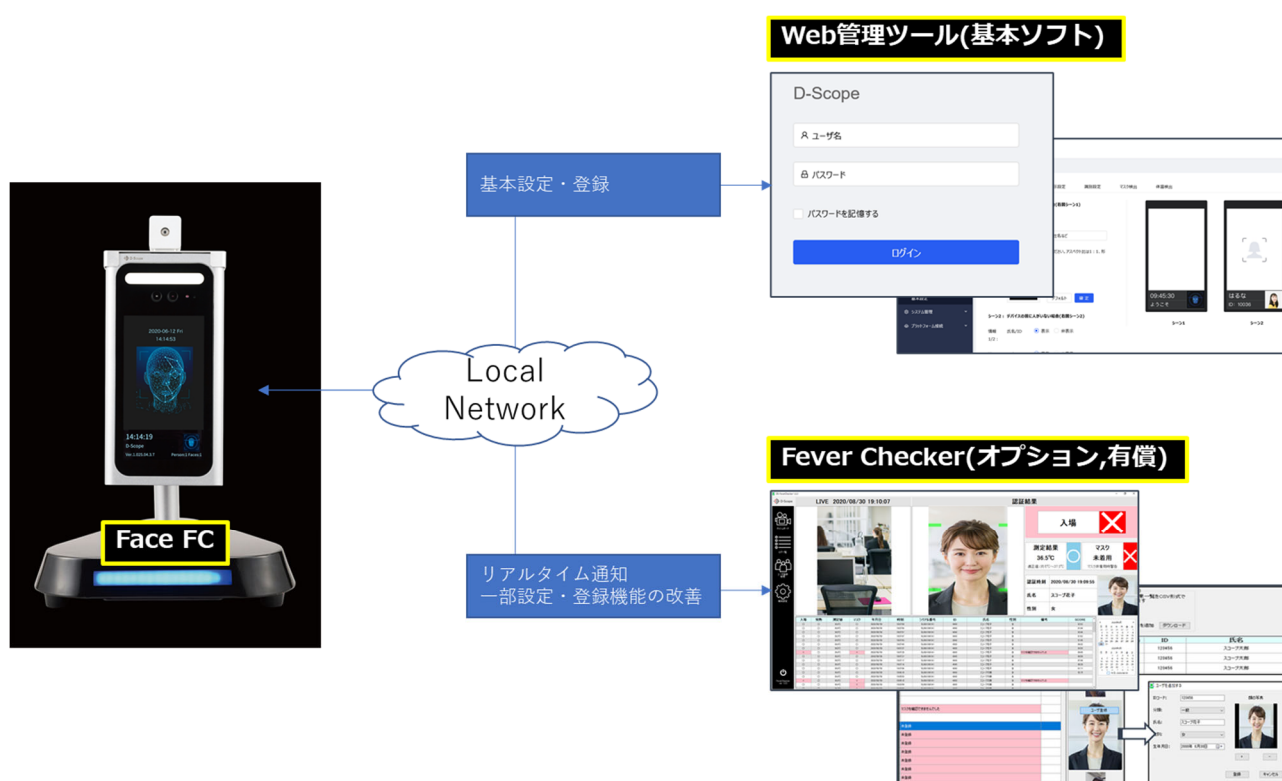


カメラの設定機能の利便性を改善

- ・ログ検索機能の充実化(各ソート条件に対応)
- ・過去の認証ログ画像から一発ユーザ登録
- ・ログの完全消去機能(アプリ・カメラ本体 双方)

1.3 Web 管理ツール(基本ソフト)との併用について

Fever Checker は FaceFC のリアルタイム認証状況確認、および一部の設定機能のユーザビリティを改良したアプリケーションです。FaceFC をご使用していただくための登録・設定(ディスプレイ表示設定や温度閾値設定など)は、従来通り Web 管理ツールをご利用ください。



1.4 動作環境

本アプリケーションの動作条件は、下記 PC スペックとなります。

画面サイズ：1920x1080、拡大率 100%または 125% ※

CPU：スコア 1000 以上

https://www.cpubenchmark.net/midlow_range_cpus.html

HDD：SSD を推奨

メモリ：4GB 以上

OS：Windows10/Home 以上

I/F：カメラとの LAN 接続(無線/Ethernet 100Mbps 以上)

※画面サイズ：1920x1080、拡大率 100%/125%以外の設定でもアプリケーションは動作することが可能ですが、画面の表示崩れやボタンが押せないなどの不具合が発生する可能性があります。あらかじめご了承ください。

2. ご利用前の WindowsPC 設定確認

2.1 画面サイズ・拡大率の変更

「1.4 動作環境」にも記載の通り、本アプリケーションがサポートする画面サイズは 1920x1080 です。画面サイズの確認・変更は以下の手順で行います。



①左下の「Windows マーク」を右クリックして、設定ウィンドウを表示させます

②「システム」をクリックします



③「システム」をクリックします。

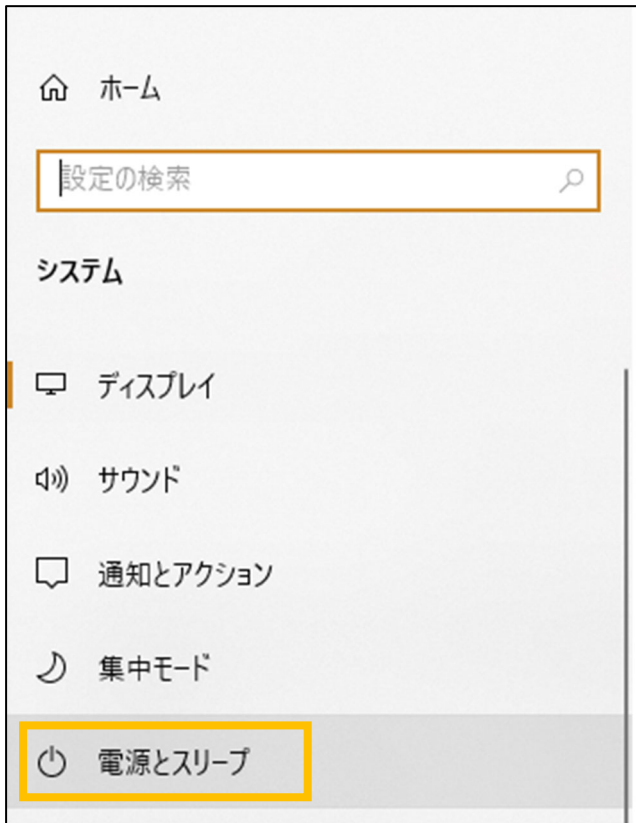


④「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」を 100%もしくは 125%に変更してください。

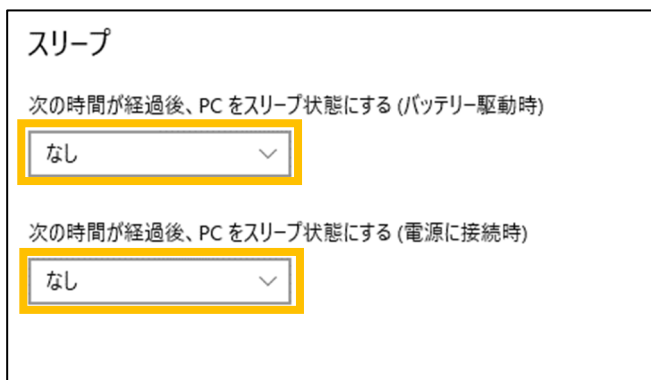
⑤「ディスプレイの解像度」を 1920×1080 に変更してください。

2.2 スリープモードの解除

Fever Checker を常時稼働させておきたい場合は、Windows のスリープ設定(無操作が続くと自動的にスリープモードに移行)を OFF にする必要があります。



①システムを起動して(手順 2.1①~③参照)、「電源とスリープ」をクリックします。



②スリープ状態にするを「なし」に設定します。

3. インストールの方法

Fever Checker をお使いの PC にインストールする手順です。

3.1 はじめて PC にインストールする場合



① 「DS-F-Single_Release ver x.xx .zip」※1 をダブルクリック、もしくは右クリックで「解凍」→「デスクトップに解凍」を選び、zip ファイルの解凍を行います。

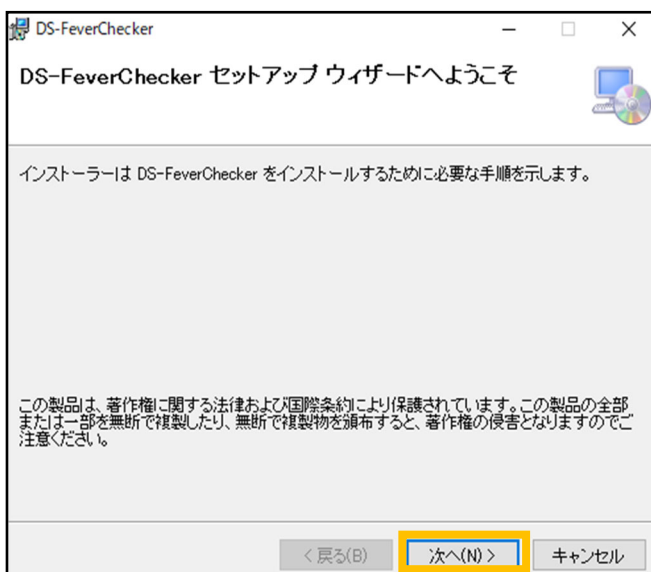
※1: x.xx はバージョン番号を指します。ご利用の時期により異なります。(2020/8/30 時点の最新版は ver1.03 です)

※2: デスクトップに「Release」という名前のフォルダが既に存在する場合は解凍が正常に行われません。既に Release フォルダが存在する場合は、Release フォルダを別フォルダに移動させるなど対処したあとに(デスクトップに Release フォルダが無い状態で)、解凍してください。

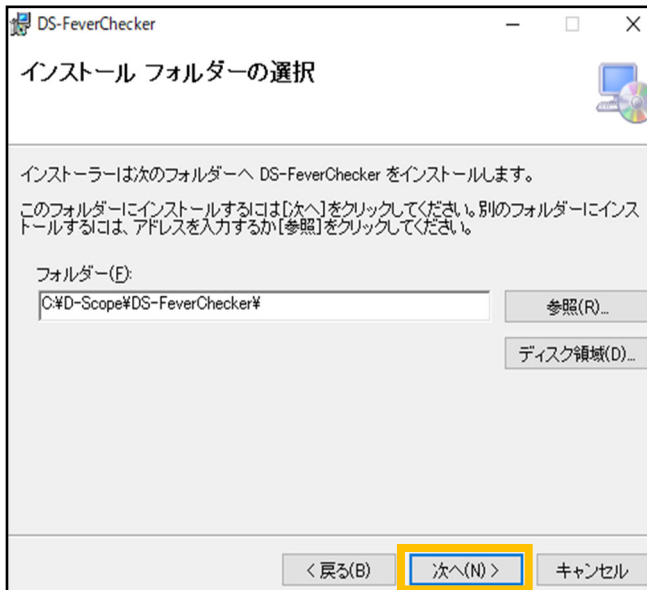


② 「FaceRecogMgrSetup.msi」をダブルクリックして実行します。

③ 「ユーザアカウント制御 この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」が表示されますので、「はい」をクリックします。

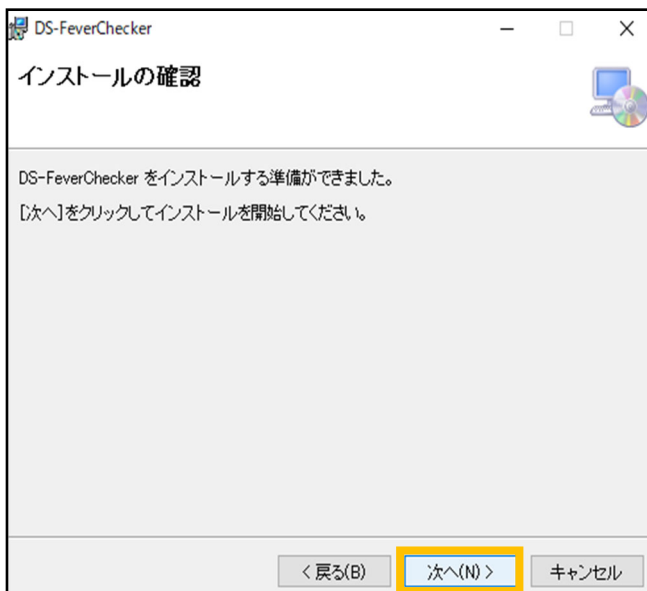


④ 「DS-FeverChecker セットアップウィザードへようこそ」の画面で、「次へ」をクリックします。

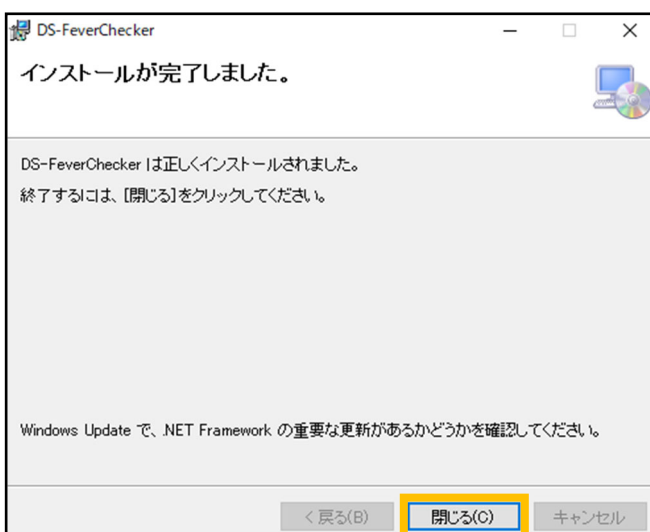


⑤インストールフォルダの選択を行います。変更する場合は、「参照」ボタンをクリックしてフォルダの変更を行ってください。

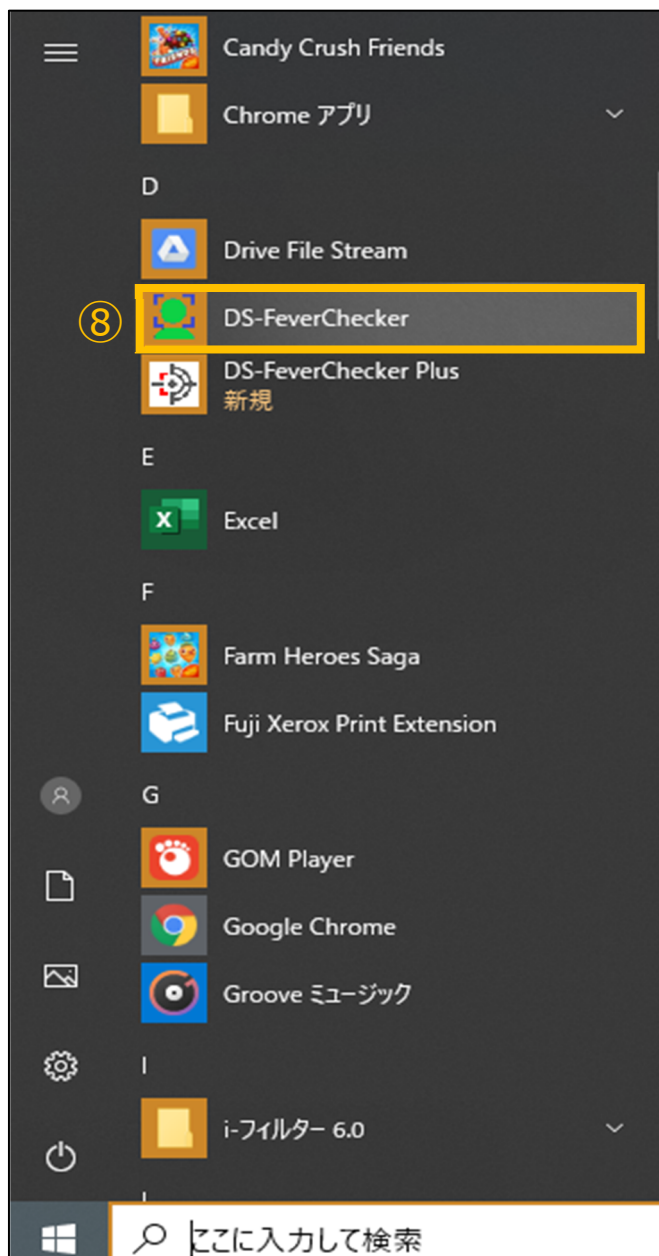
特に変更する必要が無い場合は、「次へ」を押してください。



⑥「インストールの確認」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



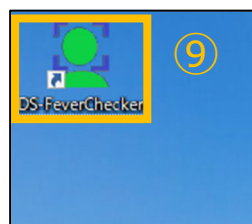
⑦「インストールが完了しました。」の画面が表示されたら、「閉じる」をクリックします。



⑧左下の「Windows マーク」を押して、「DS-FeverChecker」が存在することを確認ください。

⑨デスクトップ上に「DS-FeverChecker」のアイコンが存在することを確認ください。

以上でインストール作業は終了です。



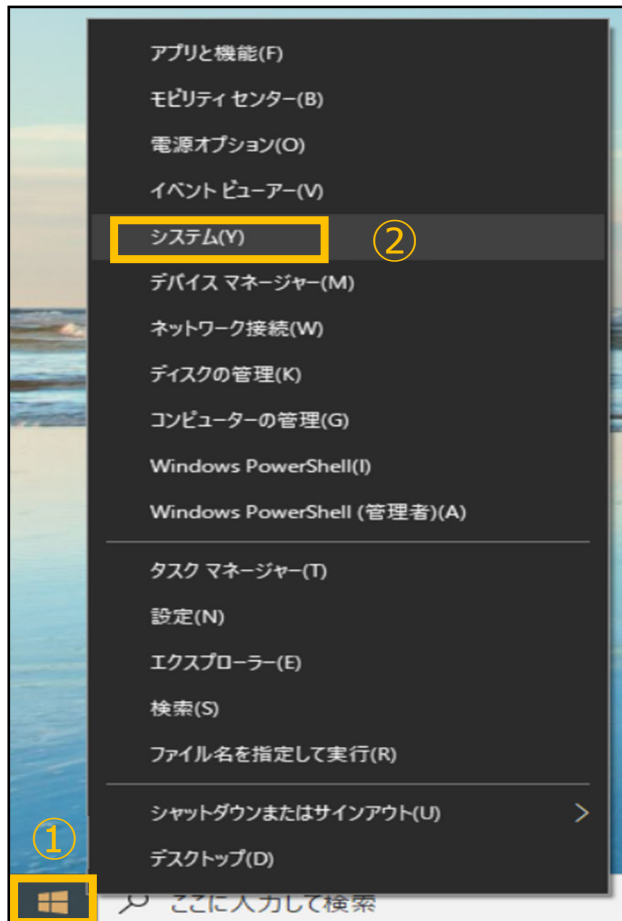
3.2 ライセンスキーを入力する

左下 Windows ボタン、もしくはデスクトップのショートカット(手順 3.1 ⑧, ⑨参照)から Fever Checker を起動してください。初回起動時はライセンスキーの入力が必要になります。ライセンス証書に記載される「お客さま番号」を記載してください。

ライセンスキーの入力は、ご利用の PC で Fever Checker を初めて起動したとき 1 回のみとなります。その後のアプリ起動時・バージョンアップ時の入力は不要です。

3.3 バージョンアップを行う場合 ※新 ver がリリースされた場合のみ実施ください

Fever Checker の新 ver がリリースされた場合は、旧 ver の Fever Checker をアンインストールしてから、新 ver の Fever Checker をインストールする必要があります。下記にアンインストールの手順を記載しますので、アンインストールを実施してから、手順 3.1 にて、新 ver のインストールを実施してください。



①左下の「Windows マーク」を右クリックして、設定ウィンドウを表示させます

②「システム」をクリックします

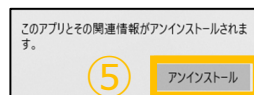


③「アプリ」をクリックします。



④DS-FeverChecker を選択して、「アンインストール」をクリックします。

⑤確認画面が出ますので、「アンインストール」をクリックします。



⑥「ユーザアカウント制御 この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」が表示されますので、「はい」をクリックします。

以上でアンインストールは完了です。

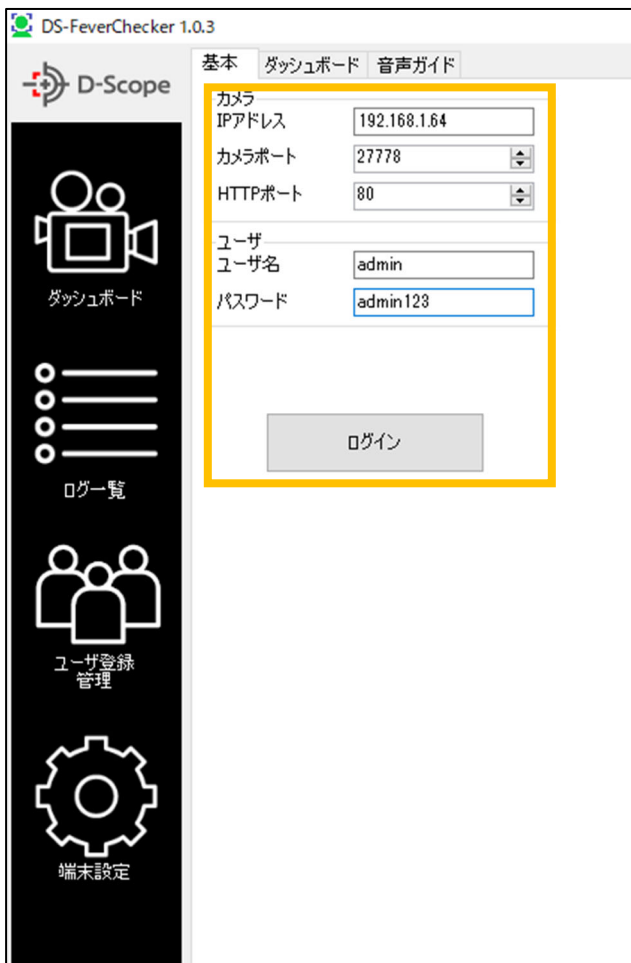
手順 3.1 にて、新 ver のインストールを実施してください。

4. Fever Checker と FaceFC を接続する

4.1 FaceFC にログインする

以降の手順・説明は Fever Checker のアプリを起動した状態での説明となります。左下 Windows ボタン、もしくはデスクトップのショートカットから Fever Checker を起動してください。

(手順 3.1 ⑧, ⑨参照)



①左メニューの「端末設定」→「基本」タブから、接続する FaceFC の IP アドレス、ユーザ名、パスワードを入力して「ログイン」をクリックします。

※カメラポート、HTTP ポートは通常使用では変更を行いませんので、変更を行ってない場合はデフォルトの設定値をそのまま使用ください。

ログイン: 192.168.11.64:27778

②下のステータスバーが緑色 : ログインになっていれば、FaceFC との接続が成功です。

4.2 ログインできないときのポイントメモ

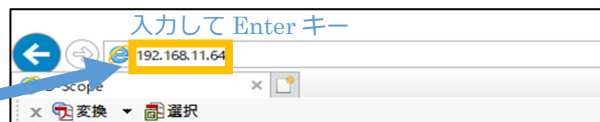
ログインできないときは、下記手順を参考に切り分けをしてください。

- ① IE(Internet Explorer)で、Fever Checker で入力されている FaceFC の IP を入力・アクセスする。

▼Fever Checker



▼Internet Explorer



- ②' Web 管理ツールにアクセスできる場合

Fever Checker に入力している、ユーザ名・パスワードが間違っている可能性があります。ユーザ名・パスワードを再度確認のうえ、入力してください。

※Web 管理ツールに Fever Checker で入力している、ユーザ名・パスワードを入力してログインできない場合は、間違っています。

- ②'' Web 管理ツールにアクセスできない場合



下記の理由が考えられますので、確認をしてください。

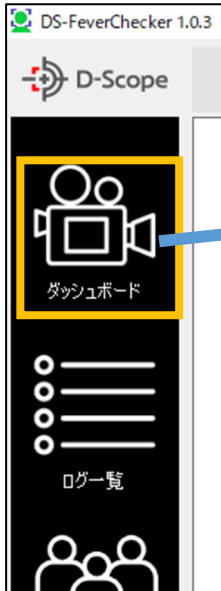
1. Fever Checker で入力している FaceFC の IP アドレスが間違っている。
2. PC と FaceFC が同じネットワークに接続されていない。
3. PC もしくは FaceFC が同じネットワークになるような IP 設定がされていない。

※体温検知、顔認証デバイス操作説明書 第1版 2.1 「TCP/IP の設定」、6.1「ネットワーク設定(TCP/IP)」を参考に確認・変更してください

5. ダッシュボードの機能説明

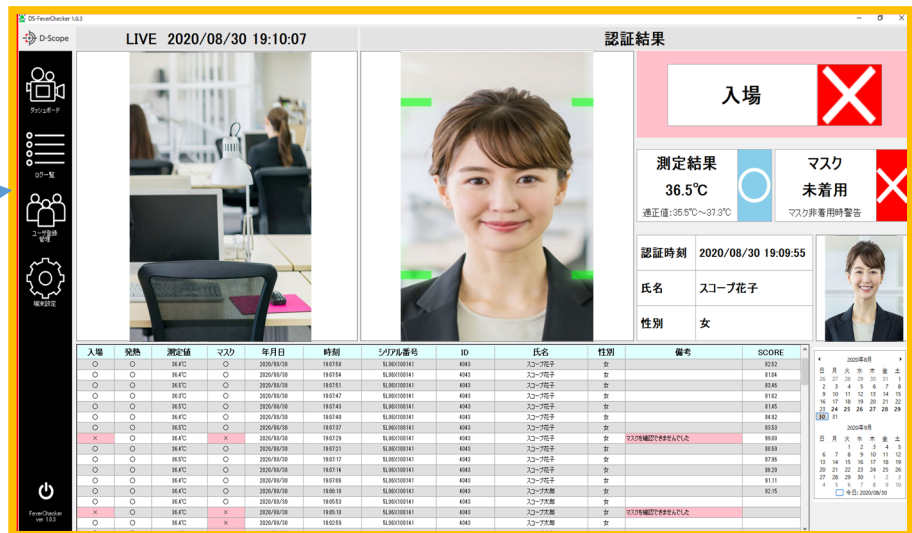
5.1 ダッシュボード画面への移動

▼左メニュー



クリック

▼ダッシュボード画面



左メニューから「ダッシュボード」をクリックすると、ダッシュボード画面に遷移します。

5.2 ライブビュー画面



画面左側の枠に、FaceFC のカメラから撮影されるライブ映像が表示されます。上部には現在の時刻が表示されます。

5.3 リアルタイム認証結果の確認

認証結果

入場

測定結果 36.5℃

マスク 未着用

通正値: 35.5℃～37.3℃

認証時刻 2020/08/30 19:09:55

氏名 スコープ花子

性別 女

入場	発熱	測定値	マスク	年月日	時刻	シリアル番号	ID	氏名	性別	備考	SCORE
○	○	36.4℃	○	2020/08/30	19:07:58	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.82
○	○	36.4℃	○	2020/08/30	19:07:54	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.84
○	○	36.4℃	○	2020/08/30	19:07:51	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.85
○	○	36.4℃	○	2020/08/30	19:07:47	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.82
○	○	36.4℃	○	2020/08/30	19:07:43	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.85
○	○	36.4℃	○	2020/08/30	19:07:40	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.82
○	○	36.4℃	○	2020/08/30	19:07:37	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.82
×	○	36.4℃	×	2020/08/30	19:07:29	SL0001000141	4143	スコープ花子	女	マスク着用できていません	89.89
○	○	36.4℃	○	2020/08/30	19:07:21	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		85.93
○	○	36.4℃	○	2020/08/30	19:07:17	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		87.86
○	○	36.4℃	○	2020/08/30	19:07:14	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		88.29
○	○	36.4℃	○	2020/08/30	19:07:06	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.11
○	○	36.4℃	○	2020/08/30	19:06:58	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		82.15
×	○	36.4℃	×	2020/08/30	19:06:10	SL0001000141	4143	スコープ花子	女	マスク着用できていません	
○	○	36.4℃	×	2020/08/30	19:02:59	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		

画面右側の枠には、認証結果が表示されます。認証が行われるとリアルタイムで、認証時の画像と認証結果が更新されます。また認証時は音声による認証結果通知もされます。

認証結果の表示項目は、端末設定→ダッシュボード→認証時表示で、表示/非表示の切替が可能です(手順 8.1 参照)。また音声通知においても、端末設定→音声ガイドにて、音声発話する認証項目を選択可能です(手順 8.2 参照)。

5.3 過去の認証結果の確認

**選択したログの
認証結果に更新**

認証結果

入場

測定結果 36.5℃

マスク 未着用

通正値: 35.5℃～37.3℃

認証時刻 2020/08/30 19:09:55

氏名 スコープ花子

性別 女

入場	発熱	測定値	年月日	時刻	シリアル番号	ID	氏名	性別	備考	SCORE	
○	○	36.4℃	2020/08/30	19:07:58	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.82	
○	○	36.4℃	2020/08/30	19:07:54	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.84	
○	○	36.4℃	2020/08/30	19:07:51	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.85	
○	○	36.4℃	2020/08/30	19:07:47	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.82	
○	○	36.4℃	2020/08/30	19:07:43	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.85	
○	○	36.4℃	2020/08/30	19:07:40	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.82	
○	○	36.4℃	2020/08/30	19:07:37	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.82	
×	○	36.4℃	×	2020/08/30	19:07:29	SL0001000141	4143	スコープ花子	女	マスク着用できていません	89.89
○	○	36.4℃	2020/08/30	19:07:21	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		85.93	
○	○	36.4℃	2020/08/30	19:07:17	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		87.86	
○	○	36.4℃	2020/08/30	19:07:14	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		88.29	
○	○	36.4℃	2020/08/30	19:07:06	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		81.11	
○	○	36.4℃	2020/08/30	19:06:58	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		82.15	
×	○	36.4℃	×	2020/08/30	19:06:10	SL0001000141	4143	スコープ花子	女	マスク着用できていません	
○	○	36.4℃	×	2020/08/30	19:02:59	SL0001000141	4143	スコープ花子	女		

画面下側の枠には、当日分のログの一覧が表示されます。右のカレンダーから日付を選択することで、選択された日付のログ一覧を赤枠リスト上に表示することができます。

ログをクリックすると、選択されたログの認証結果が画面右側に表示されます。

入場	発熱	測定値	マスク	年月日	時刻	シリアル番号	ID	氏名	性別	備考	SCORE
○	○	36.4℃	○	2020/06/30	19:07:59	SL06X100141	4043	スコープ花子	女		82.52
○	○	36.4℃	○	2020/06/30	19:07:54	SL06X100141	4043	スコープ花子	女		81.04

ログ一覧で表示される項目の説明は以下の通りです。

・入場

ゲート判定にて Open となった場合は「○」になります。

※ゲートの判定条件は Web 管理ツールにて設定を行います。

・発熱

温度測定値が正常温度範囲を超えた場合に「×」になります。

※正常温度範囲の設定は Web 管理ツールにて設定を行います。

・測定値

温度測定値が表示されます。

・マスク

マスクを装着している場合は「○」、されていない場合は「×」になります。

・年月日

認証時の年月日を表示します。

・時刻

認証時の時刻を表示します。

・シリアル番号

ログインしている FaceFC(カメラ)のシリアル番号を表示します。

・ID

認証されたユーザの ID が表示されます。

※登録ユーザの顔認証成功時のみ表示されます。

・氏名

認証されたユーザの氏名が表示されます。

※登録ユーザの顔認証成功時のみ表示されます。

・性別

認証されたユーザの性別が表示されます。

※登録ユーザの顔認証成功時のみ表示されます。

・備考

NG 理由(ブラックリスト、マスクを確認できませんでしたなど)が記載されます。

・SCORE

顔認証の SCORE が表示されます。FaceFC が登録ユーザと判定する際の値となります。こちらの値が、認識比較閾値(Web 管理ツールで設定)を超えた場合にユーザの判定がされます。逆に下回った場合は、未登録者として判定されます。

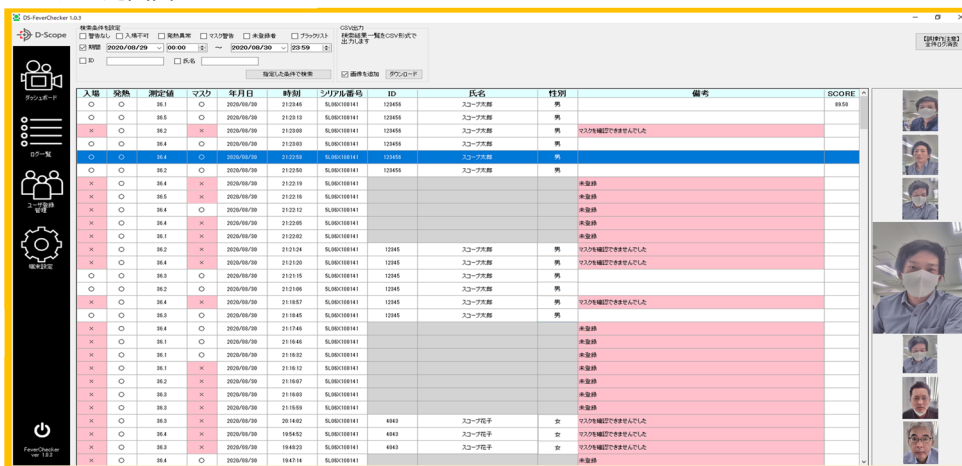
6. ログ一覧の機能説明

6.1 ログ一覧画面への移動

▼左メニュー



▼ログ一覧画面



左メニューから「ログ一覧」をクリックすると、ログ一覧画面に遷移します。

6.2 ログ一覧表示およびログ絞り込み機能



上図の赤枠にログ一覧が表示されます。ログ一覧で表示されるデータ項目はダッシュボードと同様です。右部には選択したログの認証時画像、上下には前後3つの認証時画像が表示されます。

上図の黄色枠でログ条件を指定することでログ絞り込みが可能です。絞り込み可能な項目は以下の通りです。

検索条件を設定

☐ 警告なし
 ☐ 入場不可
 ☐ 発熱異常
 ☐ マスク警告
 ☐ 未登録者
 ☐ ブラックリスト

☒ 期間
 2020/08/29
 00:00
 ~
 2020/08/30
 23:59

☒ ID
 123456
 ☐ 氏名

指定した条件で検索

検索条件で絞込ができる項目は以下の通りです。

・警告なし

入場○(ゲート判定 O K)のログ絞込ができます。

・入場不可

入場×(ゲート判定 N G)のログ絞込ができます。

・発熱異常

発熱×(測定値が温度閾値を超えた)のログ絞込ができます。

・マスク警告

マスク×(マスク未着用)のログ絞込ができます。

・未登録者

未登録者(ユーザ登録されていない) のログ絞込ができます。

・ブラックリスト

ブラックリスト登録されているユーザのログ絞込ができます。

・期間指定

日時を入力して、期間中のログ絞込ができます。

・ID

ユーザ登録情報の ID で絞込ができます。完全一致検索となります。

・氏名

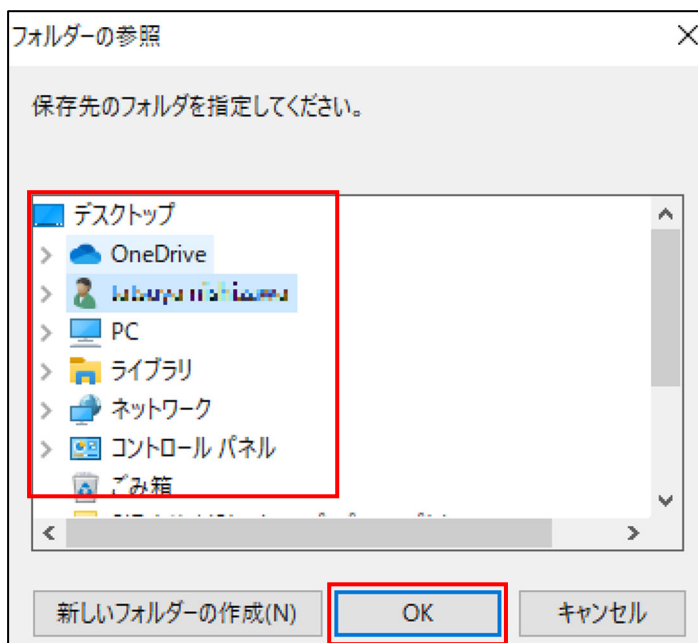
ユーザ登録情報の氏名で絞込ができます。完全一致検索となります。

項目にチェックを入れて「指定した条件で検索」をクリックすると、指定された条件のログ一覧が表示されます。

6.3 ログの csv 出力と認証時画像の出力



赤枠の「ダウンロード」ボタンをクリックすることで、ログ一覧に表示されたログの csv 出力が可能です。また「画像を追加」のチェックボックスを入れると、対象ログの認証時画像も一緒にファイル出力することが可能です。



「ダウンロード」ボタンをクリックすると、フォルダの参照画面が表示されます。

保存するフォルダを選択して、「OK」をクリックすると、選択したフォルダに csv および画像ファイルが保存されます。

6.4 未登録者の認証時画像からのユーザ登録



ログ一覧に存在する未登録者の画像を、新規ユーザとしてユーザ登録することが可能です。未登録者の認証時画像の上で、右クリックすると「ユーザ登録」ボタンが出てきますので、左クリックで実行してください。



ユーザを追加する

IDコード: ① 123456

分類: ② 一般

氏名: ③ スコープ花子

性別: ④ 女

生年月日: ⑤ 2000年 8月30日

顔の写真

⑥ 登録

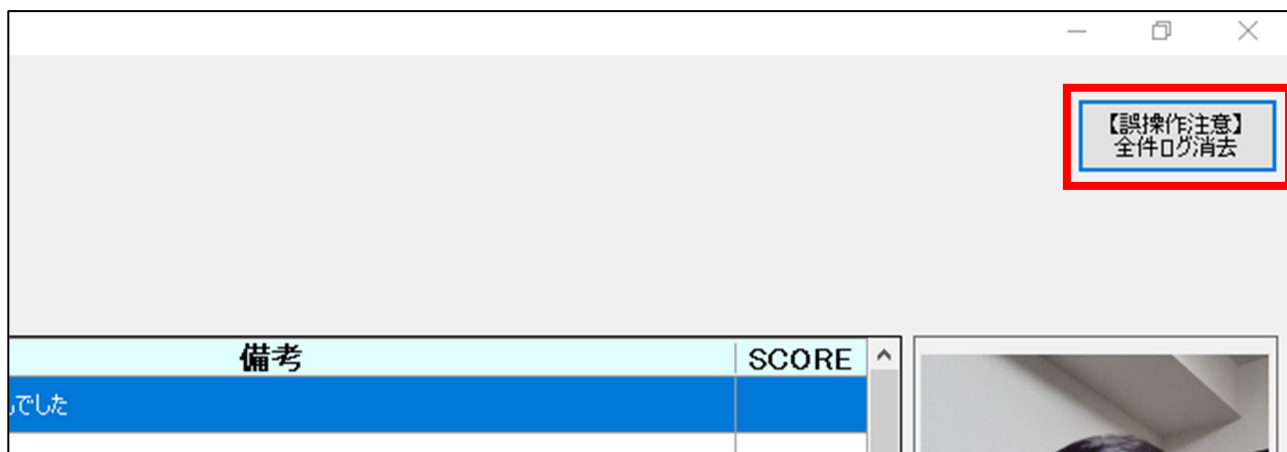
キャンセル

「ユーザ登録」ボタンを押すと、選択した顔画像で「ユーザを追加する」の画面が表示されます。

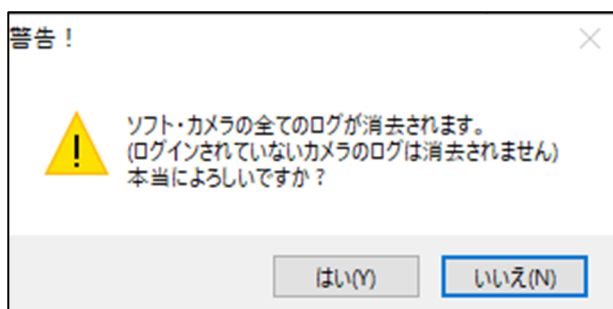
- ①ID コードを入力してください。
- ②分類を一般かブラックリストか選択してください。
- ③氏名を入力してください。
- ④性別を入力してください。
- ⑤生年月日を入力してください。
- ⑥「登録」を押せば、ユーザ登録が完了します。

6.5 ログ全件削除機能

【注意】：本機能を使用すると FaceFC 本体(カメラ本体)および Fever Checker から検出口ログ(認証ログ)が**全て消去**されます。一度消去するとログを復元することはできませんので、ご注意ください。



ログ一覧の右上に「全件ログ消去」ボタンがあります。こちらを実行すると、FaceFC 本体(カメラ本体)および Fever Checker から検出口ログ(認証ログ)が全て消去されます。



「全件ログ消去」ボタンを押すと、「警告！」の画面が表示されます。

「はい」をクリックするとログが全件消去されます。

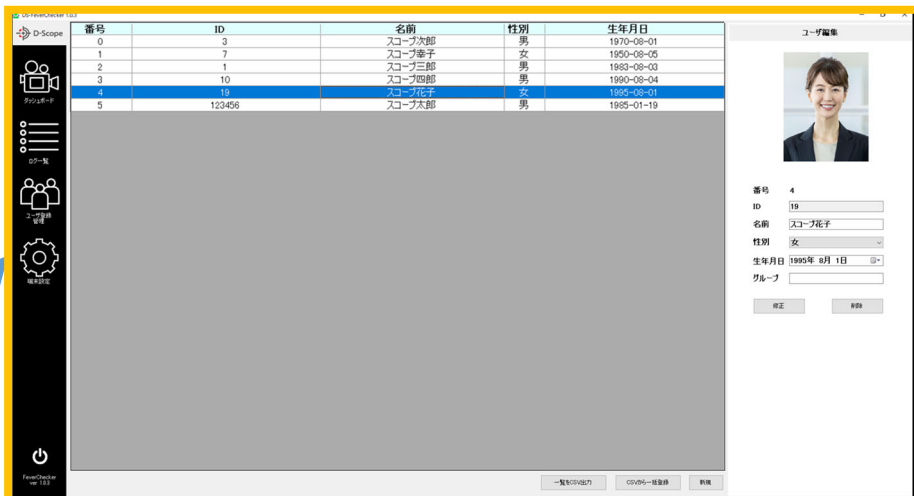
7. ユーザ登録管理の機能説明

7.1 ユーザ登録管理画面への移動

▼左メニュー



▼ユーザー登録管理画面



クリック

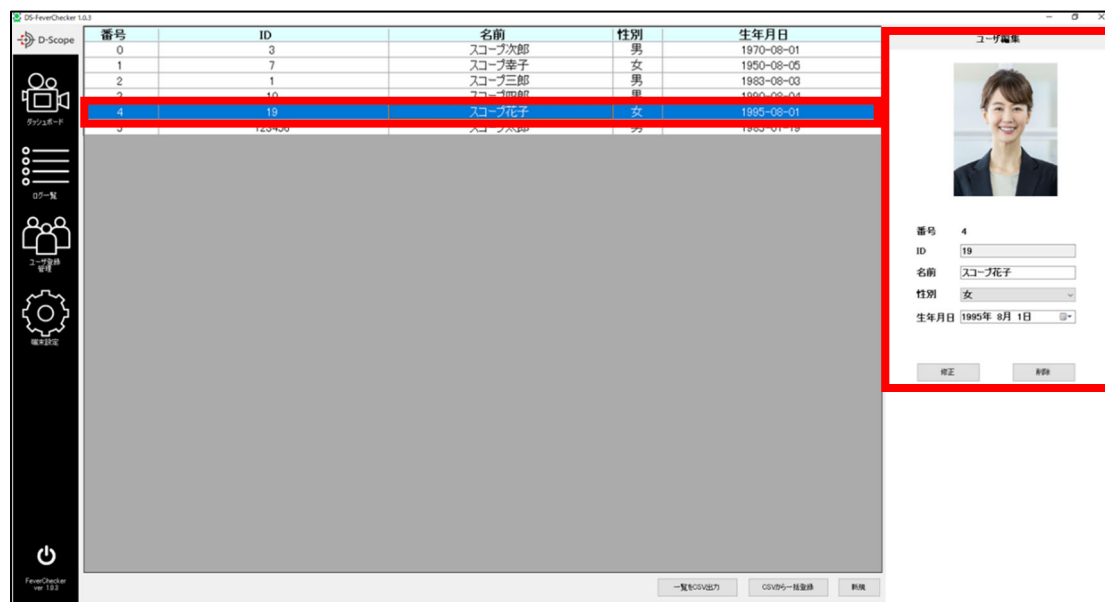
左メニューから「ユーザー登録管理」をクリックすると、ユーザー登録管理画面に遷移します。

7.2 ユーザ登録情報の昇順/降順並び替え

番号	ID	名前	性別	生年月日
0	3	スコープ次郎	男	1970-08-01
1	7	スコープ幸子	女	1950-08-05
2	1	スコープ三郎	男	1983-08-03
3	10	スコープ四郎	男	1990-08-04
4	19	スコープ花子	女	1995-08-01
5	123456	スコープ太郎	男	1985-01-19

ユーザ情報の項目名(番号/ID/名前/性別/生年月日)をクリックすることで、各項目ごとに昇順/降順に並び替えることが可能です。

7.3 ユーザ登録情報の編集・削除



上図の赤枠では、選択した登録ユーザの編集・削除が可能です。

ユーザ編集



番号 4

ID 19

① 名前 スコープ花子

性別 女

生年月日 1995年 8月 1日

② 修正 ③ 削除

・編集する場合

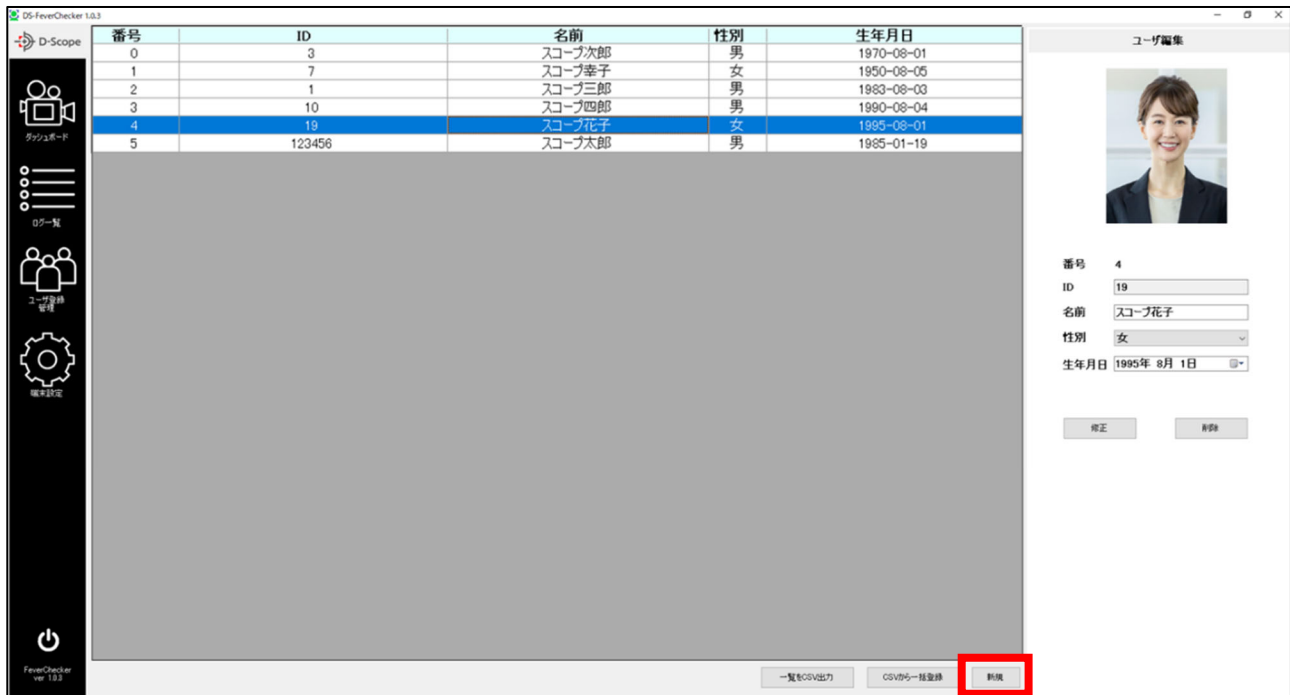
①「名前」、「性別」、「生年月日」の変更を行います。
※画像、番号、ID の変更はできません。これらの項目を変更したい場合は、いったんユーザを削除して再度登録が必要となります。

②「修正」ボタンをクリックします。

・削除する場合

③「削除」ボタンをクリックして、確認画面で「はい」を選択します。

7.4 ユーザ登録情報の新規追加



上図の赤枠の「新規」ボタンをクリックすることで、新規ユーザの登録が可能です。



ユーザを追加する

IDコード:

分類:

氏名:

性別:

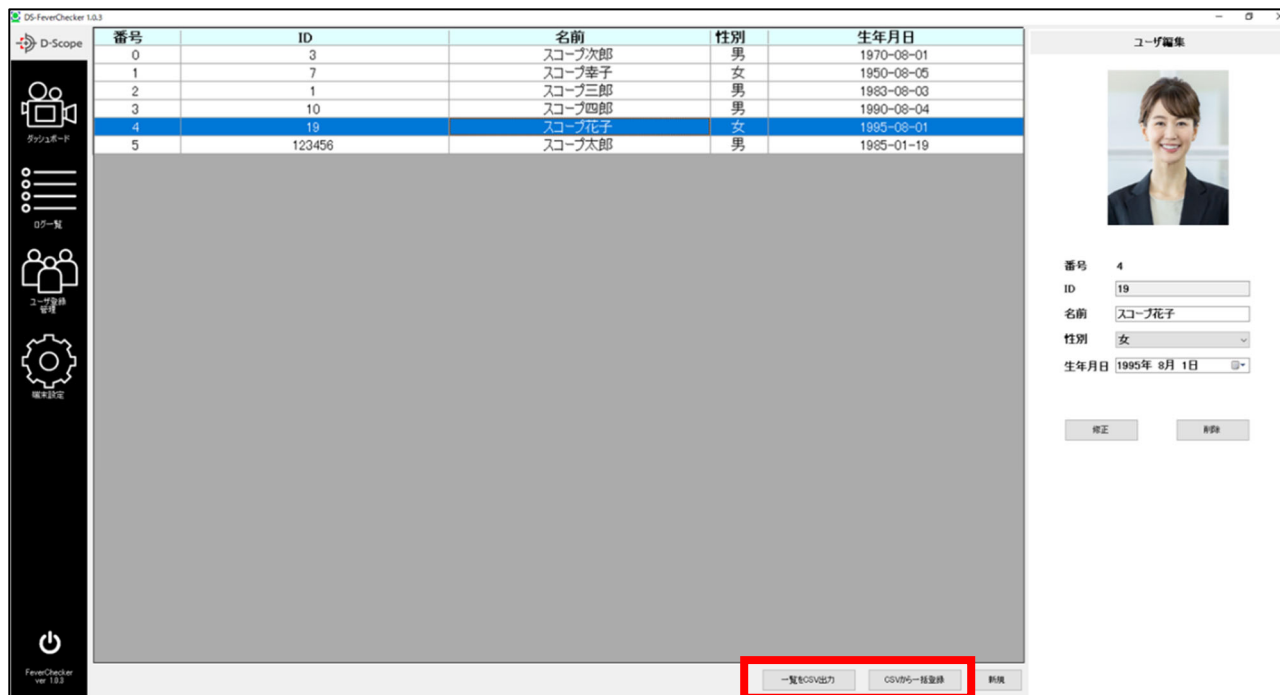
生年月日:

顔の写真

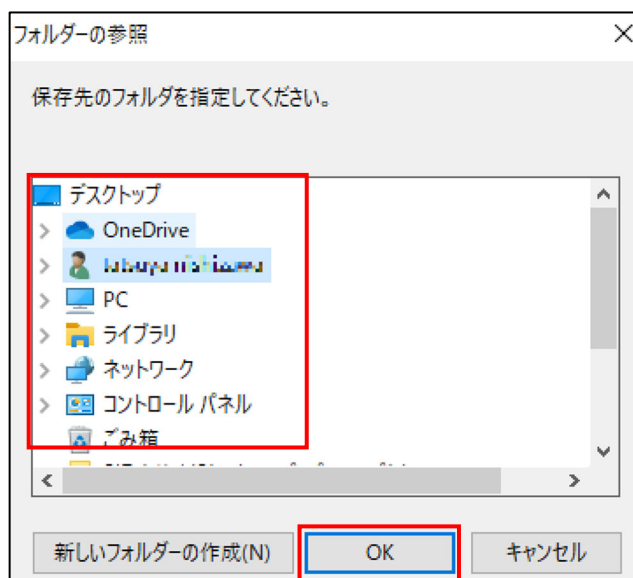
「新規」ボタンをクリックすると、「ユーザを追加する」の画面が表示されます。

- ①「IDコード」、「分類(一般 or ブラックリスト)」、「氏名」、「性別」、「生年月日」を入力します。
- ②「+」ボタンで画像データの登録、「-」ボタンで画像データの削除ができます。
- ③登録をクリックすると、ユーザが追加されます。

7.5 ユーザ登録情報の一括出力/登録



上図の赤枠の「一覧を CSV 出力」をクリックすることで、登録ユーザの csv ファイルと登録画像のデータ出力ができます。また、「CSV から一括登録」をクリックすると、csv ファイルと顔画像の保存場所を指定して、登録ユーザの一括登録が可能です。



「一覧を CSV 出力」または「CSV から一括登録」をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されます。

「一覧を CSV 出力」の場合は、csv ファイルと登録画像が出力されるフォルダを選択して、「OK」をクリックします。

「CSV から一括登録」の場合は、一括登録する csv ファイルと顔写真が保存されているフォルダを指定して、「OK」をクリックします。

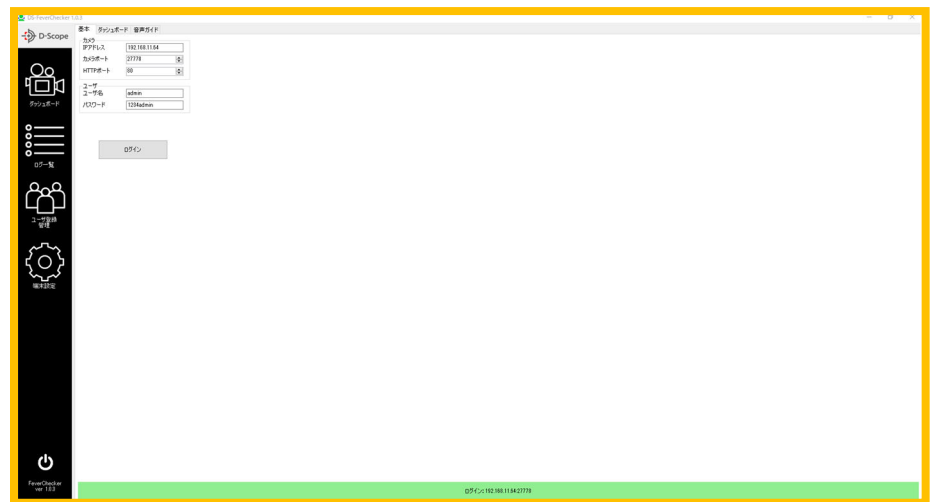
8. 端末設定機能の説明

8.1 端末設定画面への移動

▼左メニュー



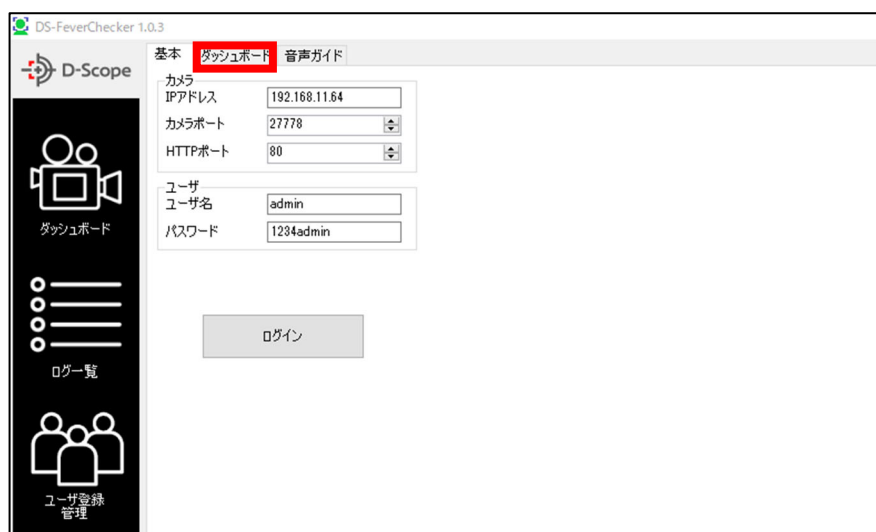
▼端末画面



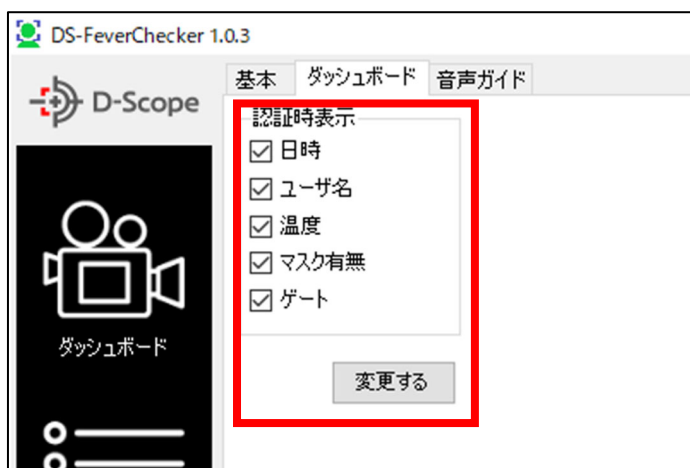
クリック

左メニューから「ユーザ登録管理」をクリックすると、端末管理画面に遷移します。「基本」タブについては手順 4.1 で説明したため、記載を割愛します。

8.2 ダッシュボードの設定



上図の赤枠の「ダッシュボード」タブをクリックすることで、ダッシュボードの認証画面で表示する項目を設定できます。



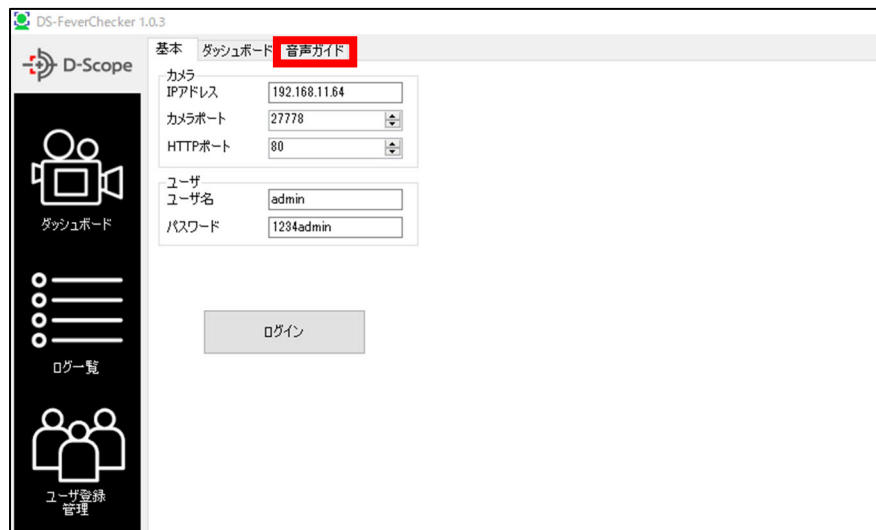
「ダッシュボード」タブをクリックすると、「認証時表示」の画面が表示されます。

各項目のチェックを外し、「変更する」ボタンをクリックすると、ダッシュボードの認証画面でその項目を非表示にすることができます。

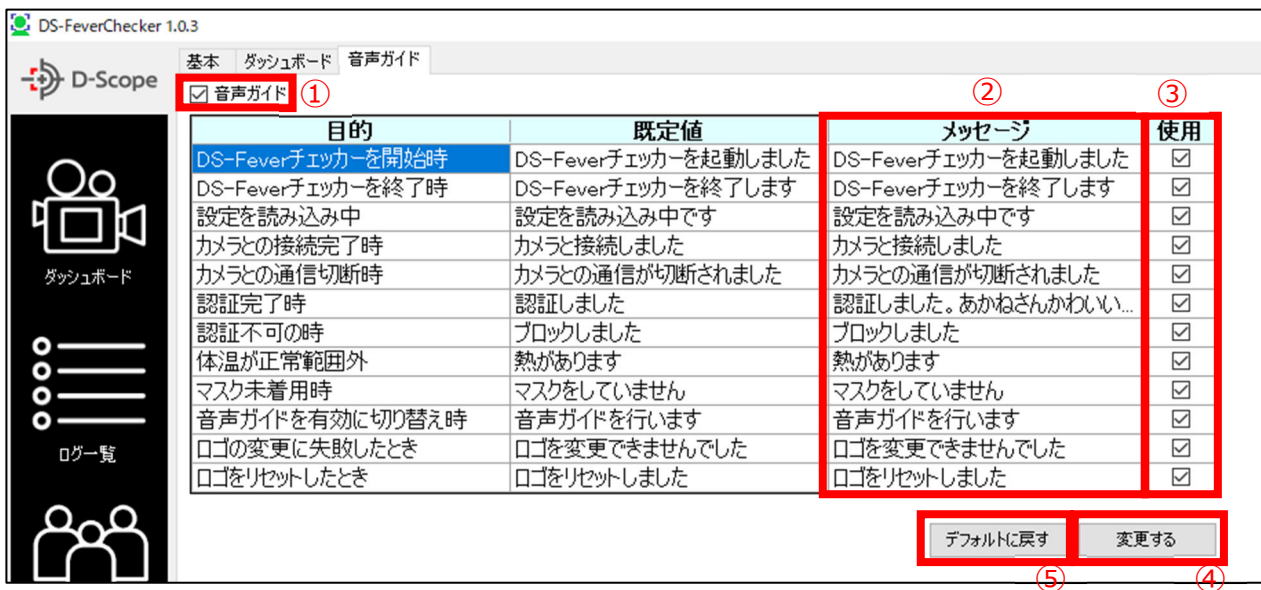
▼ユーザ名/温度/マスク表示のチェックを外した時の、ダッシュボード認証結果表示例



8.3 音声ガイドの設定



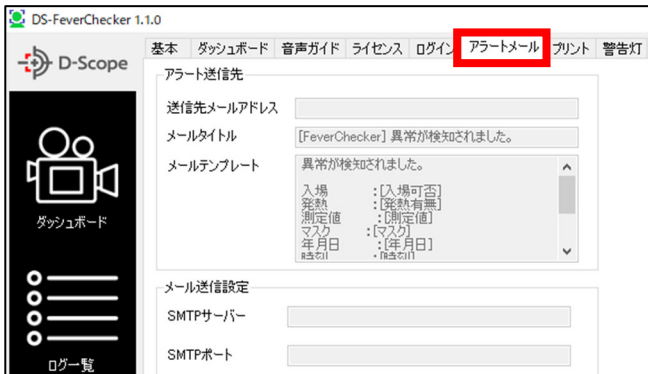
上図の赤枠の「音声ガイド」タブをクリックすることで、音声ガイドの通知設定を変更できます。



「音声ガイド」タブをクリックすると、音声ガイドの通知設定画面が表示されます。

- ① 音声ガイドを OFF にする場合は、チェックを外します。
- ② 認証項目(目的)ごとに発話するメッセージの変更が可能です。メッセージを変更する場合は、対象メッセージをクリックして編集します。
- ③ 認証項目(目的)ごとに、発話の ON/OFF を設定可能です。OFF にする場合はチェックを外します。
- ④ 変更を反映する場合は、「変更する」ボタンをクリックします。
- ⑤ デフォルト設定に戻す場合は、「デフォルトに戻す」をクリックして、確認画面で「はい」を選択します。

8.4 アラートメールの設定



左図の赤枠の「アラートメール」タブをクリックすることで、異常時のメール送信機能の設定が可能です。

アラート受信アドレス設定

④

送信先メールアドレス

メールタイトル [FeverChecker] 異常が検知されました。

メールテンプレート

異常が検知されました。

入場 : [入場可否]

発熱 : [発熱有無]

測定値 : [測定値]

マスク : [マスク]

年月日 : [年月日]

*** **

SMTPサーバー

SMTPサーバー

SMTPポート

SMTPユーザー

パスワード

送信元メールアドレス

③

☒ アラートメール機能を利用 ①

☒ 熱異常を検知したらメールを送信 ②

☒ マスク未装着を検知したらメールを送信

☒ 入場を許可しない場合メールを送信

変更する ⑤

テスト送信 ⑥

①アラートメール機能を ON にするには、「アラートメール機能を利用」をチェックしてください。

②メールを発報する条件を指定できます。
発熱異常時、マスク未着用時、入場 OK / NG から選択可能です。発報したい条件にチェックを入れてください。

③メール送信に利用する SMTP サーバ情報を入力してください。

④「送信先メールアドレス」にメール発報するメールアドレスを入力してください。

「メールタイトル」を編集することで、メールの件名を変更可能です。

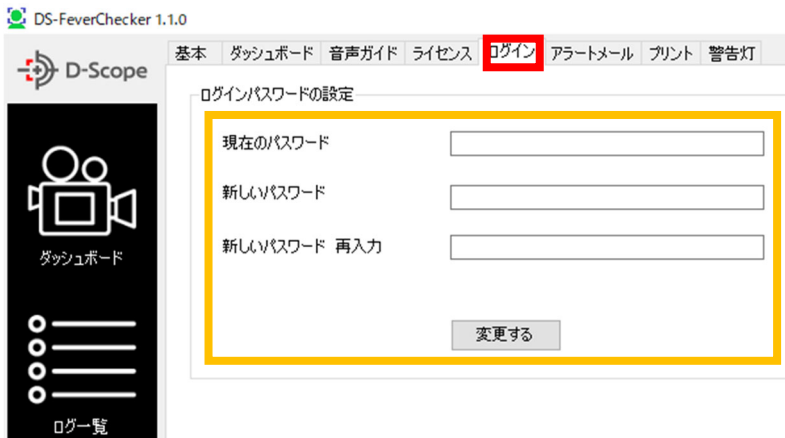
「メールテンプレート」では、メール本文に記載する内容を編集できます。

“[]”で囲われた項目は、認証時時の測定結果が記載されます。

⑤変更を反映する場合は、「変更する」ボタンをクリックします。

⑥「テスト送信」ボタンを押すことで、メールテストを行うことができます。テストメール送信が完了した場合「テスト成功」と表示されます。失敗した場合は、③、④の設定値が誤っている場合がございますので、ご確認ください

8.5 ログイン時のパスワード設定



左図の赤枠の「ログイン」タブをクリックすることで、Fever Checker 起動時のパスワード設定を変更できます。

パスワードを変更する場合は、現在のパスワードと新しいパスワードを入力して「変更する」ボタンを押してください。

※パスワード未設定時は新しいパスワードのみ入力してください。

※パスワードを忘れた場合は、別途送付させていただきますパスワード初期化ツールを実行することでパスワードが解除されます。

8.6 ラベルプリンタ 連携機能

<<本機能を使用する前に・・・>>

本機能は brother 社製ラベルプリンター(TD-4550DNWB)との連携機能です。認証毎に認証結果をプリント出力できます。事前に①, ②の作業を行い、本機能を使用できる準備を行ってください。

また、標準で用意しているテンプレートファイルの用紙サイズは、レシート (幅 58mm)、ラベル (幅 76mm×長さ 26mm)となりますが、P-touch Editor(brother 社製ソフトウェア)にてテンプレートを編集することで、他サイズの用紙でも出力可能です(後述の「ワンポイント メモ」参照)。

①. FeverChecker を使用する PC にて、下記サイトから TD-4550DNWB の統合インストーラーをインストールして、TD-4550DNWB が使用できるようにご準備ください

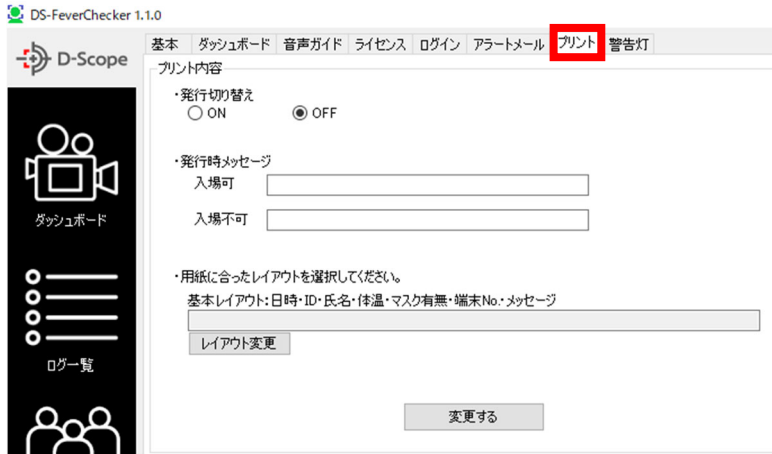
https://support.brother.co.jp/j/b/downloadlist.aspx?c=jp&lang=ja&prod=es_td4550dnwbjp&os=10011

※ご不明点がございましたら TD-4550DNWB マニュアルを参照のうえお進めください。

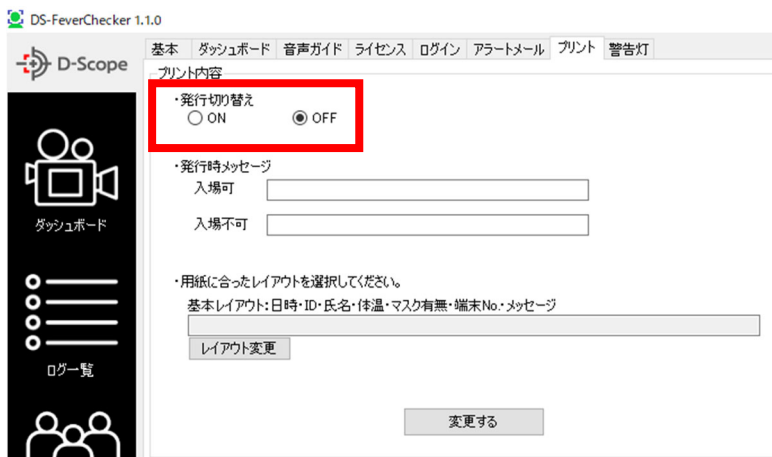
②. 「bPAC3CCISetup.msi」を実行して PC にインストールしてください。

※「bPAC3CCISetup.msi」は納品物として別途送付いたします。

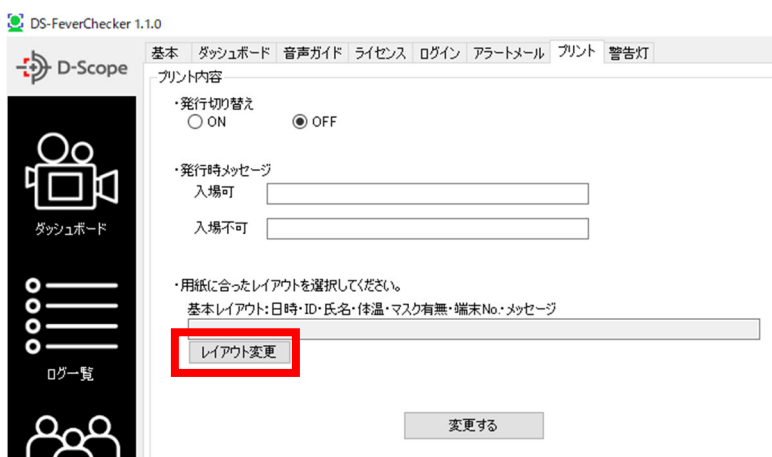
名前	更新日時	種類	サイズ
 bPAC3CCISetup.msi	2020/12/17 21:18	Windows インストー...	12,519 KB
 receiptLayout1.lbx	2020/12/17 11:00	LBX ファイル	3 KB
 steckerLayout1.lbx	2020/12/17 11:01	LBX ファイル	3 KB



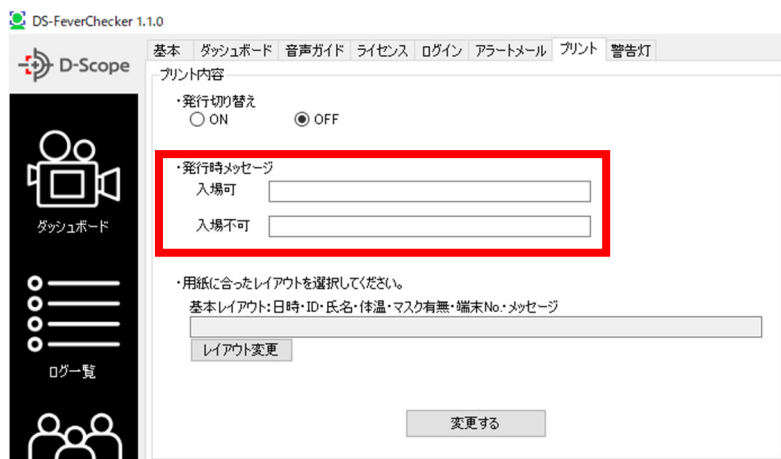
③. 左図の赤枠の「プリント」タブをクリックすることで、プリンタ連携メニューを開くことができます。



④. 機能を ON にするには、発行切り替えを「ON」にしてください。
※プリンタ連携をしない場合は「OFF」にしてください。



⑤. 参照ボタンを押して、
テープを使用する場合は、
receiptRayout.lbx
ラベルを使用する場合は、
steckerRayout.lbx
の置き場所を指定してください。
※「receiptRayout1.lbx」「steckerRayout1.lbx」は
納品物として別途送付いたします。



⑥. 発行時メッセージの「入場可」「入場不可」を編集することで、下記のテーブル・ラベルテンプレートの☆部分の出力メッセージが変更可能です。

例えば、

入場可を「OK」、入場不可を「NG」にすれば、通行許可の認証時(入場○)は☆部分が「OK」、通行未許可(入場×)の認証時は☆部分が「NG」で出力されます。

▼ラベル テンプレート(steckerRayout.lbx)

date	ID
☆ 氏名: name	
temp °C マスク: mask	Num

▼テーブル テンプレート(receiptRayout.lbx)

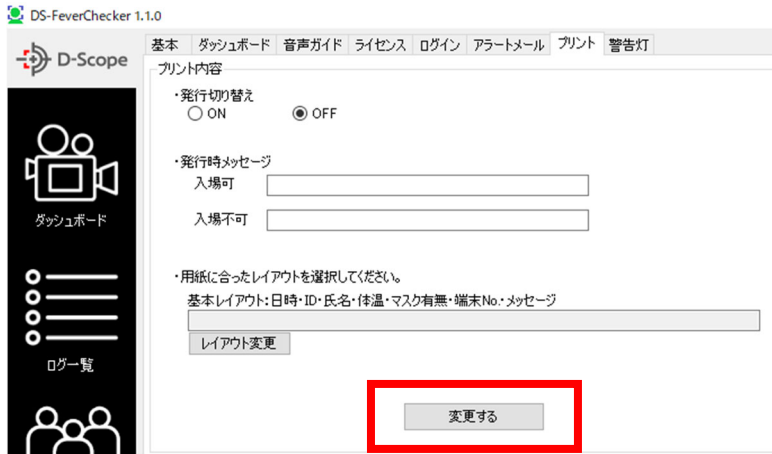
date
id
name
mask
temp
Num
☆

▼入場可「OK」入力時の、通行許可認証時(入場○)のラベルプリント例

2021/02/08 17:03:39	123
OK 氏名: スコープ太郎	
36.5 °C マスク: 有り	5TNxxxxxx

▼入場不可「NG」入力時の、通行未許可認証時(入場×)のラベルプリント例

2021/02/08 17:03:39	123
NG 氏名: スコープ太郎	
36.5 °C マスク: 無	5TNxxxxxx



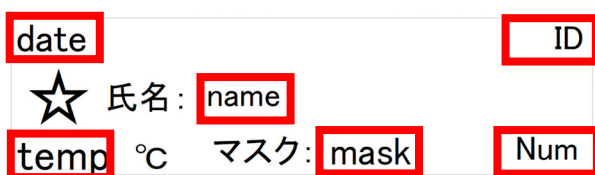
⑦. 設定が完了すれば、「変更する」ボタンを押します。以上で設定は完了です。

<<ワンポイント メモ>>

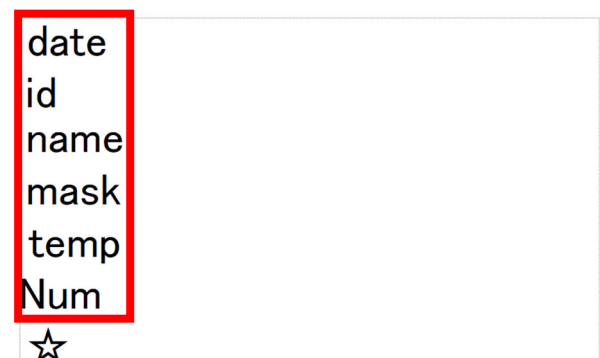
P-touch Editor(brother 社製ソフトウェア)を使用することで、テンプレートのレイアウトを自由に編集することができます。テンプレート中の項目は下記のパラメータを表し、測定毎に測定結果を出力します。

date . . . 認証した時間 (YYYY/MM/DD hh:mm:ss)
 id . . . 認証した登録者の ID (例: 123) ※未登録者は「未登録」と表示
 name . . . 認証した登録者の氏名 (例: スコープ太郎) ※未登録者は「未登録」と表示
 temp . . . 測定温度を表示 (例: 36.5)
 mask . . . マスク着用有無 (有 or 無)
 Num . . . カメラのシリアル番号 (例: 5TX0xxxxxxx)

▼ラベル テンプレート



▼テープ テンプレート



P-touch Editor にてテンプレートの編集を行うことで、表示項目の削除や固定文の追加、文字フォントの大きさ変更など用途に合わせて変更することができます。編集したテンプレートファイルを保存して、該当ファイルを参照しなおすことで(8-8⑤)、更新が可能です。

例：P-touch Editor にて「steckerRayout.lb」の mask・ID・Num を削除、入場可(8-8⑥)を「いらっ
しゃいませ」にしてレイアウト変更

▼変更後のレイアウト例

日時： date
氏名： name temp 度
☆

▼変更後のラベルプリント例

日時： 2020/02/08 17:00:30
氏名： スコープ花子 36.4 度
いらっしゃいませ。

標準で用意させていただいているテンプレートのサイズは、レシート（幅 58mm）、ラベル(幅 76mm×長さ 26mm)となりますが、P-touch Editor にて用紙サイズの変更を行うことで、別サイズのレシート・ラベルにも対応することが可能です。より詳しく操作を確認するには、P-touch Editor のマニュアルを参照ください。

▼P-touch Editor HP

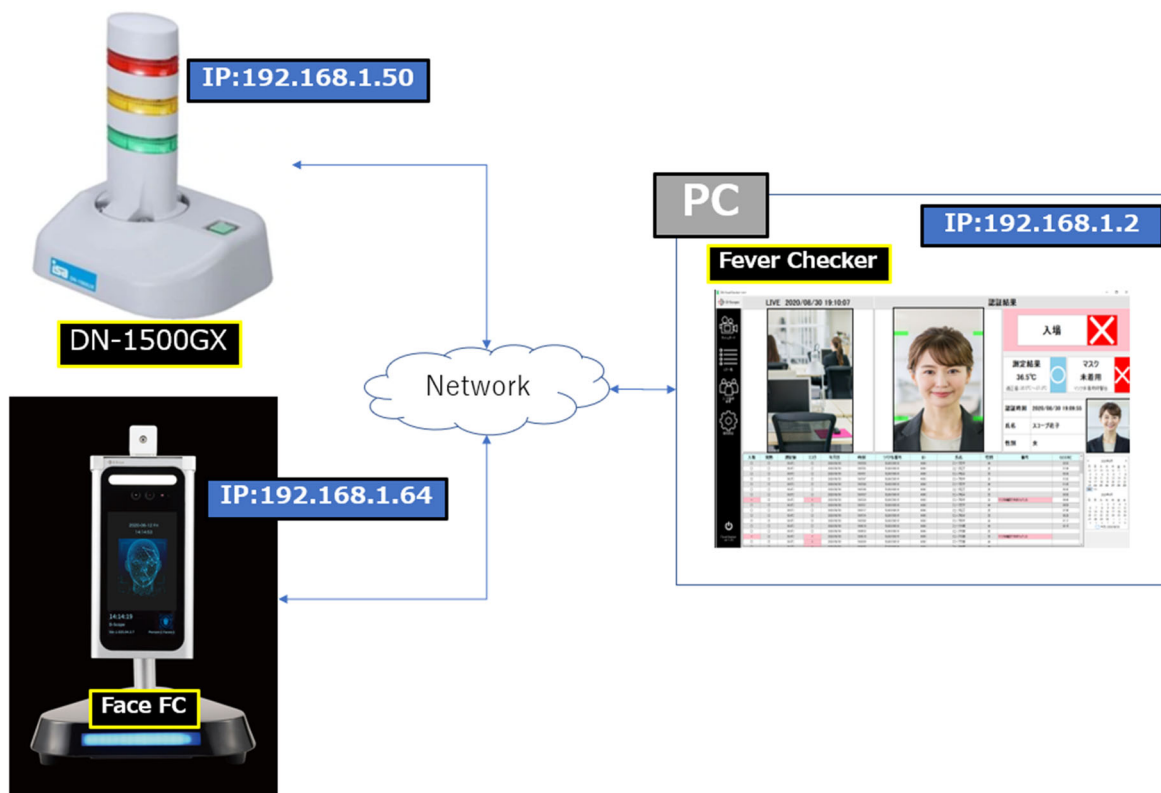
<https://www.brother.co.jp/product/labelprinter/editor/index.aspx>

8.7 警告灯 連携機能

<<本機能を使用する前に・・・>>

本機能はアイエスエイ社製警告灯（警子ちゃん：DN-1500GX）との連携機能です。アラート毎に警告灯で表示灯発光・ブザーおよび音声再生が可能です。Fever Checker と連携を行うには、Fever Checker がインストールされている PC から、警告灯に IP 疎通できる状態にする必要があります。DN-1500GX のマニュアル(<http://isa-j.co.jp/dn1500gl/>)を参照のうえセットアップを行ってください。

▼接続例(お客様のネットワーク環境に合わせて各機器の IP を設定)：





①. 左図の赤枠の「警告灯」タブをクリックすることで、警告灯メニューを開くことができます。



②. 機能を ON するには、「警告灯を連動する」にチェック入れてください。
※警告灯連動をしない場合はチェックを外してください。



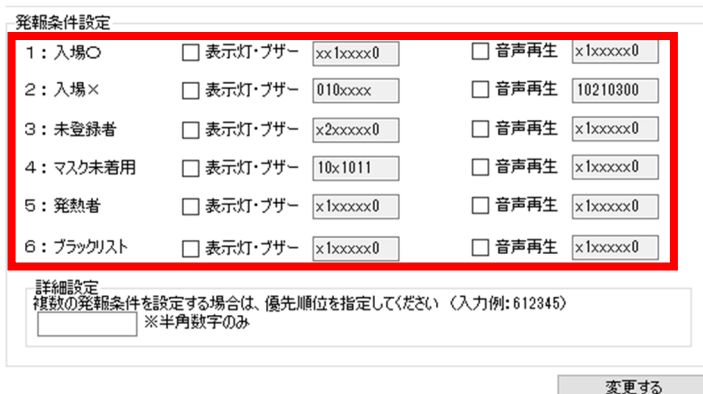
③. 「警告灯接続 IP アドレス」に警告灯の IP アドレスを入力します。



④. 接続テスト「実行」を押します。警告灯への接続ができている場合は、テスト結果：OK と表示されます。

※テスト実行後は、表示灯：点滅とブザー音が鳴りますので、ご注意ください。

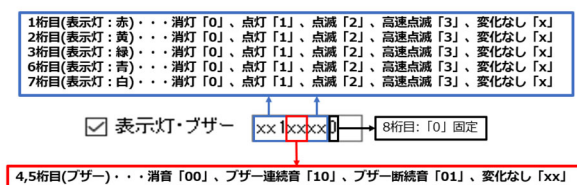
※OK と表示されない場合は、警告灯との IP 疎通ができておりませんので、警告灯の設定を確認してください。



⑤. 「入場○」、「入場×」、「未登録者」、「マスク未着用」、「発熱者」、「ブラックリスト」から発報条件を選択することができます。

発報条件ごとに、「表示灯・ブザー」および「音声再生」の設定が可能です。警告灯連動したい発報条件に対して、「表示灯・ブザー」、「音声再生」のチェックを入れてください。

▼「表示灯・ブザー」の設定値について



⑥. 「表示灯・ブザー」は計 8 桁で設定ができます。各桁数の設定パラメータは左図の通りです。

例えば、ある発報条件で、赤：点滅、黄：消灯、緑：点灯、ブザー連続音を行いたい場合は、「20110xx0」と入力します。

▼「音声再生」の設定値について

1桁目(再生)・・・[停止「0」、再生「1」]
 2,3桁目(音声番号)・・・再生する音声番号「01~20」
 4桁目(リピート有無)・・・連続再生「0」、再生回数指定「1」
 5,6桁目(リピート回数)・・・再生回数「01~99」

☒ 音声再生 10210300 → 7,8桁目:「0」固定

⑦.「音声再生」は計 8 桁で設定ができます。各桁数の設定パラメータは左図の通りです。

例えば、ある発報条件で、音声番号:02、リピート 3 回を再生する場合は、「10210300」と入力します。

※音声再生、ブザー音ともに設定されている場合はブザー音が優先されます。音声再生を有効にするには、「表示灯・ブザー」設定の 4,5 行目を「xx」に設定してください。

発報条件設定			
1: 入場○	☒ 表示灯・ブザー	xx1xxxx0	☐ 音声再生
2: 入場×	☒ 表示灯・ブザー	010xxxx	☒ 音声再生
3: 未登録者	☐ 表示灯・ブザー	x2xxxx0	☒ 音声再生
4: マスク未着用	☐ 表示灯・ブザー	10x1011	☐ 音声再生
5: 発熱者	☐ 表示灯・ブザー	x1xxxx0	☐ 音声再生
6: ブラックリスト	☐ 表示灯・ブザー	x1xxxx0	☐ 音声再生

詳細設定
 複数の発報条件を設定する場合は、優先順位を指定してください (入力例: 612345)
 ※半角数字のみ

⑧. 詳細設定では、発報条件を複数設定していた場合に優先順位を設定することができます。

例えば、「未登録者 (発報条件:3)」、「マスク未着用 (発報条件:4)」の 2 つを発報条件を行っていた場合、未登録者かつマスク未着用の認証が行われた際、「未登録者」の発報条件を実施する場合は「34」、マスク未着用の発報条件を実施する場合は「43」を入力します。

DS-FeverChecker 1.1.0

D-Scope

基本設定
☐ 警告灯を連動する
 警告灯接続IPアドレス 192.168.1.110
 接続テスト 実行 テスト結果: --

発報条件設定

1: 入場○	☐ 表示灯・ブザー	x1xxxx0	☐ 音声再生
2: 入場×	☐ 表示灯・ブザー	x1xxxx0	☐ 音声再生
3: 未登録者	☐ 表示灯・ブザー	x1xxxx0	☐ 音声再生
4: マスク未着用	☐ 表示灯・ブザー	x1xxxx0	☐ 音声再生
5: 発熱者	☐ 表示灯・ブザー	x1xxxx0	☐ 音声再生
6: ブラックリスト	☐ 表示灯・ブザー	x1xxxx0	☐ 音声再生

詳細設定
 複数の発報条件を設定する場合は、優先順位を指定してください (入力例: 612345)
 ※半角数字のみ

変更する

⑨. 設定が完了すれば、「変更する」ボタンを押します。以上で設定は完了です。

9. こんなときは…

9.1 フリーズする。動作が重くなる。

他の Windows アプリケーションを並行で動作させているとレスポンス低下・フリーズする可能性があります。Fever Checker をご使用の際は、極力他アプリケーションを終了させてご使用ください。

9.2 FaceFC との接続ができない

ネットワーク断などで FaceFC との接続が途切れた場合は、端末設定→基本の「ログイン」を押して再度接続をなおしてください。またそれでも復旧しない場合は、手順 4.2「ログインできないときのポイントメモ」を確認のうえ、原因の切り分けを実施してください。

9.3 特定の異常時だけ音声を出したい

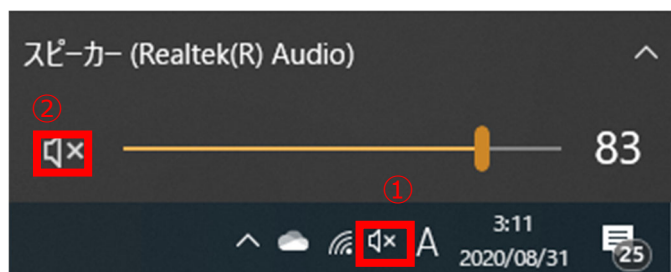
音声ガイドの使用(手順 8.3 の③)を選択することで可能です。例えば、登録者/未登録者に限らず、熱がある人を検出した場合のみ音声を出したい場合は、「認証完了時」「認証不可の時」「マスク未着用時」のチェックを外し、「体温が正常範囲外」のみチェックを行います。

▼熱異常の際だけ発話するチェック例

認証完了時	認証しました	認証しました	☐
認証不可の時	ブロックしました	ブロックしました	☐
体温が正常範囲外	熱があります	熱があります	☒
マスク未着用時	マスクをしていません	マスクをしていません	☐

9.4 音声が出ない

1. PC のスピーカーがミュート設定になっていないか確認してください。



①Windows の右下ステータスバーでスピーカーマークが×になっているときはミュート設定されています。こちらをクリックしてください。

②上部に表示されたスピーカーをクリックして、ミュートを解除します。

2. 音声ガイド設定(手順 8.3)の、音声ガイド(手順 8.3①)、使用(手順 8.3③)のチェックが外れていないか、確認してください。

9.5 登録したブラックリストユーザを確認できない

Fever Checker は登録したブラックリストユーザの確認に対応していません。ブラックリストのユーザ確認は、Web 基本ソフトのアラーム管理→アラームイベントからご確認ください。

The screenshot shows the 'アラーム管理 / アラームイベント' (Alarm Management / Alarm Event) page. The left sidebar contains a menu with 'アラーム管理' and 'アラームイベント' highlighted. The main content area shows settings for 'ブラックリストアラーム' (Blacklist Alarm). The settings include 'アラームタイプ' (Alarm Type) set to 'ブラックリストアラーム', 'アラーム有効' (Alarm Enabled) checked, 'アラーム出力有効' (Alarm Output Enabled) checked, 'アラーム出力チャンネル' (Alarm Output Channel) set to 'チャンネル 1', and 'アラーム出力遅延' (Alarm Output Delay) set to 10 seconds. Below the settings is a table of users. The first row of the table is highlighted with a red box.

No.	氏名	性別
1	スコープ太郎	男

9.6 過去の認証画像・SCORE が表示されない

過去の認証画像については、FaceFC 本体と同期をしているため直近 3,000 件が表示可能となります。(FaceFC 本体に格納される画像数と同様)。また、SCORE(手順 5.3)についてはリアルタイムで認証した際のみ表示されます。そのほかのログ情報(認証日時、ユーザ情報、測定温度、マスク有無)については、保存件数の上限はございません。